

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	消防団人件費支給事務			
予算科目	9 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	危機管理課	電話番号(内線):	982-0119
記入者情報	所属長:	泉 仁	担当責任者:	岡田 孝弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市消防団員			
根拠法令等	伊予市消防団の設置等に関する条例			
事業の目的	伊予市消防団の設置等に関する条例第7条に基づき、それぞれの職名に応じた報酬を支給する。			
事業の内容	消防団員の年報酬を支給する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の公布を踏まえ、本市消防団員の処遇の改善を図り消防団の充実に資するため、同等市及び近隣町との報酬額調整を図り、条例の一部を改正する条例の制定を提案する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	20,774	20,929	0	20,878
	人件費	5,288	874	397	874
	合計	0	21,803	397	21,752
人件費 内訳	人工数	0.65	0.11	0.05	0.11
	人件費単価	8,136	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	5,288	874	397	874
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	26,062	21,803	397	21,752

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
年報酬	千円	20774	20929	0	20878

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		21,221	21,221	221,221	21,221	21,221

成果指標				
成果指標	(実績)現状報酬額 (目標)現状報酬額<改正報酬額			
指標設定の考え方	消防団員の処遇の改善を図り消防団の充実に資するため、条例の一部を改正する条例の制定を提案し、改定報酬額を定める。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	20906	20929	21221	0
実 績	20774	20878	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	5	A
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	地方公共団体の非常勤特別職である消防団員に対し、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたこと、また、愛媛県下でも下位であった報酬について、各協議がなされ、県内同程度の市町額への処遇改善が図られたものである。市町合併後から課題とされていた同課題の改善が行われたものと認識する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	愛媛県平均額を参考に伊予市消防団の設置に関する条例の改定を行い、消防団の処遇の改善が図れた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・消防団は必要なものだと思う。・消防団員の報酬も妥当な額であり、担当者・一次評価者の評価も上位に出ている。事業は必要であり、妥当と感じた。・消防団員の定数を増やしたいのであれば、どういう工夫をしていくか、課題として書いておいた方がよい。・消防団員の確保に一定程度のエネルギーと費用を割くことも、今後の喫緊の課題ではないかという気がする。・都市部では学生消防団なるものが組織されている。似通ったボランティア的なものを試行するののも一つの方法ではないか。
-------------------	---

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	